



Newsletter

平成 28 年度事業計画・収支予算

財団は 3 月 28 日、理事会及び評議員会を開催し、「平成 28 年度事業計画案」及び「平成 28 年度収支予算案」等を審議し、提案どおり議決・同意を得ました。その概要は次のとおりです。

平成 28 年度事業計画

1 中期的な目標

平成 25 年度の公益財団法人移行後 3 年を経過した当財団として、近時の学術を巡る内外の状況をふまえ、当面の中期的な目標として、①事業運営の範囲の拡充と、②これを支える財政基盤の改善・強化を図る。

2 平成 28 年度事業計画

(1) 経常的な法人運営

① 学術情報の収集調査及び情報発信・普及啓発

i 『学術の動向』の発行

最新の学術の動向を広く各界に普及するとともに、日本学術会議の活動状況を周知させるために、総合学術情報誌『学術の動向』を発行し、全国の大学図書館等や日本学術会議関係者、財団賛助会員等に配布する。

『学術の動向』に掲載されている論文等については、当財団のホームページに掲載する。なお、同誌は、科学技術振興機構（JST）が運営する学術誌の電子アーカイブ事業の対象誌に選定されており、JST のアーカイブ事業を通じ、広く一般に公開する。

ii 『学術会議叢書』等の発行

学術及び学術研究の成果を社会一般に普及するため、日本学術会議が行った公開講演会や各種シンポジウム等の記録に加えて、当該学術テーマに関する最新の科学者の論考を盛り込んだ『学術会議叢書』等を発行する。

『学術会議叢書』については、本年度も、公益財団法人一ツ橋総合財団の助成により、全国の国公立図書館・大学附属図書館等に寄贈する。

② 学術連携推進事業

i 科学者連携事業

日本学術会議主催の講演会、シンポジウム等の事業に対する支援を行う。

this issue

平成 28 年度事業計画
平成 28 年度収支予算
学会名鑑リニューアルについて
計報
学術会議叢書 22 発刊について
出版物のご案内

公益財団法人日本学術協力財団は、賛助会員と助成金・寄附金を拠出いただいた方々のご厚意により、運営されています。

— 編集・発行 —

公益財団法人

日本学術協力財団

〒106-0031

東京都港区西麻布 3-24-20

TEL 03-3403-9788

FAX 03-5410-1822

URL

<http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/>

2016 年 4 月 1 日発行

ii 学協会に関する実態調査及び調査結果の情報発信
『データベース「学会名鑑」』については、日本学術会議及び科学技術振興機構と連携して、平成27年度に収録データの拡充・整備を行ったが、我が国学協会の実態を示す基本的データベースとして、利用の拡大に努める。

iii 国際学術交流事業
同事業の今後の在り方について、当財団の事業運営及び財政の改革に関連して、検討を続ける。

iv 学術調査研究事業
同事業の今後の在り方について、当財団の事業運営及び財政の改革に関連して、検討を続ける。

③ 学協会運営支援
日本学術会議同友会、日本医歯薬アカデミー及び日本農学アカデミー等の学協会からの要請を受けて、各団体の活動に係る事務の支援を行う。

(2) 事業運営及び法人財政の改革
事業運営及び法人財政の改革として、平成28年度は、以下の諸事項に取り組む。

① 『学術の動向』の改革

② 法人財政の改革

i 賛助会員拡充策の推進

ii 『学術の動向』有料購読者拡充策の推進

データベース学会名鑑 リニューアル公開について

データベース学会名鑑については、学協会の活動を発信するとともに科学技術情報の効率的な流通を目的として、日本学術会議、国立研究開発法人科学技術振興機構、公益財団法人日本学術協力財団の協力の下、平成23年7月より運営してまいりましたが、この度、掲載情報の拡充及び操作性の向上等を目的として、ウェブサイト进行全面リニューアルいたしました。

新・学会名鑑に掲載しておりますデータは、日本学術会議が平成27年度に「協力学術研究団体」を対象に行いました実態調査を基としております。

操作面においては、各学協会がいつでもログインし、掲載情報を更新することが可能となりました。

各学術団体の関係者の皆様におかれましては、引き続き、本事業にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

学会名鑑 URL : <https://gakkai.jst.go.jp/gakkai/>

平成28年度収支予算

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)
(単位：千円)

科 目	予算額
I 一般正味財産増減の部	
1 経常増減の部	
(1) 事業活動収入	
基本財産運用益	328
受取会費	17,440
事業収益	9,710
受取補助金等	1,500
雑収益	52
経常収益計	29,030
(2) 経常費用	
事業費	22,245
管理費	6,785
経常費用計	29,030
当期経常増減額	0
2 経常外増減の部	
(1) 経常外収益計	0
(2) 経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
一般正味財産期末残高	10,713
II 指定正味財産増減の部	
指定正味財産期末残高	43,082
III 正味財産期末残高	53,795

訃報 金澤一郎 理事

財団の理事である金澤一郎先生が、1月20日、74歳でご逝去されました。

先生のご専門は脳科学分野で、アルツハイマー病やパーキンソン病、ハンチントン病研究など難病の研究に尽力されました。また、2006年10月から2011年6月まで日本学術会議の会長を務められ、その後、当財団の理事にご就任いただき、財団の発展に多大なる貢献をいただきました。

謹んで御冥福をお祈り申し上げます。



※お申込みは FAX にて
03-5410-1822

A5 判、274 頁
本体 1,800 円 + 税 (送料別)
賛助会員は割引価格
1,750 円 (送料込)

学術会議叢書 22

『地殻災害の軽減と学術・教育』の出版について

2011 年 3 月 11 日に起こった M9.0 の大地震に起因する東日本大震災は、東京電力福島第一原子力発電所の事故を誘発し、大きな被害と混乱をもたらしました。また、この大災害を前に地震学、地質学、地震歴史学などを主対象にしてきた科学者、研究者に大きな衝撃をもたらしました。

日本学術会議は、即座に大震災後の復興及び福島第一原子力発電所事故への対応のため、「東日本大震災復興支援委員会」を立ち上げるなどしてこの未曾有の災害に対応するための方策の検討などについて、積極的に取り組んできました。

そのような状況の中、東京大学地震研究所の呼びかけもあって、平成 25 年 11 月に、日本学術会議第一部史学委員会、地域研究委員会及び第三部地球惑星科学委員会と東京大学地震研究所が共催で学術フォーラム「地殻災害の軽減と学術・教育」を開催し、地震学、火山学、地質学、地理学、防災学等の諸分野からの報告を行いました。

財団では、この学術フォーラムでの専門家の先生方の講演記録を取り纏め、さらに、新たな先生方を迎え、今後の巨大災害への対応の参考とするため、平成 27 年度の『学術会議叢書 22』として発刊いたしました。

この叢書につきましても、例年と同じく、公益財団法人一ツ橋総合財団から助成を頂き、全国約 1,500 ケ所の国公立図書館、大学図書館等に寄贈いたしました。

—目次—

「発刊に寄せて」大西 隆

「発刊に当たって」木村茂光

第一部 地殻災害の学際的研究

「歴史地震・津波の研究と大地震の長期予測」佐竹健治

「低頻度大規模噴火に備えた研究のあり方」中田節也

「地殻災害軽減に向けた地理学の役割」熊木洋太

「地殻災害軽減の基礎を担う地質学：震源断層解明作業への寄与」伊藤谷生

「地震・津波に関する歴史研究と災害科学研究のあり方」平川 新

「弘仁地震の被害と復興、そして教訓」田中広明

「地殻災害軽減のための防災研究の枠組み」林 春男

「東日本大震災におけるハザードマップ作成と自然地理・防災教育の実践」宮城豊彦

第二部 地殻災害の予知と研究計画

「地殻災害の予知と地震火山観測研究計画」平田 直

「地殻災害における災害誘因・素因の相互作用」田村圭子

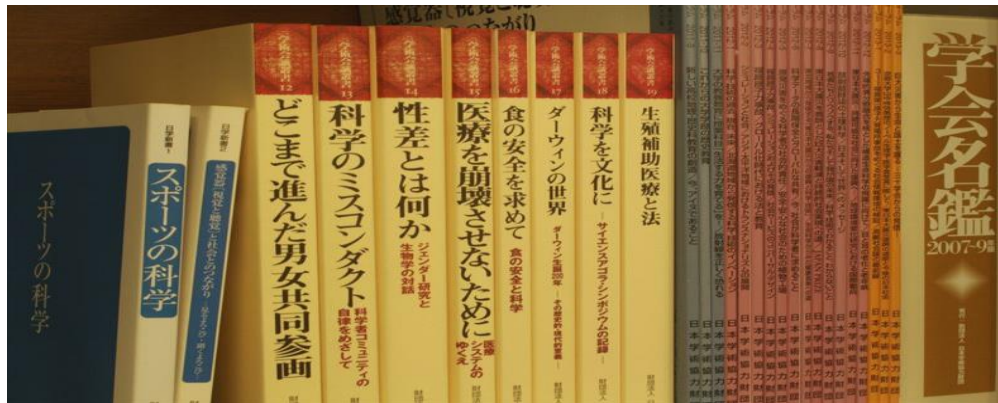
「地殻災害（地震・噴火）の予知と学術」保立道久

「地震火山観測研究計画の進展状況について」加藤尚之・西村太志・森田裕一

「考古学における地殻災害研究の今後」小池伸彦・村田泰輔

「歴史学における地殻災害の研究の今後について」榎原雅治

(敬称略)



出版物のご案内 ※お申込みは FAX にて 03-5410-1822

月刊誌 学術の動向 本体価格 720 円 + 税 (送料込)
 年間購読 8,230 円 (税・送料込)
 賛助会員は無料配布

- '16 年 1 月号 アジアのメガシティ東京 その現状と日本の役割
震災復興の今を考える—こども・文化・心をつないで—
- 2 月号 大村智博士と梶田隆章博士の 2015 年ノーベル賞受賞
農学の新展開に向けて—情報科学と数理・物理科学の視点を取り入れた分野横断型農学研究—
- 3 月号 社会における安全目標その多様な展開
病気を媒介する衛生動物とその防除
第 3 回国連防災世界会議を踏まえた次世代の防災・減災

学術会議叢書 A5 判・本体価格 1,800 円 + 税 (送料別)
 賛助会員は割引価格 1,750 円 (税・送料込)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1 生殖医療と生命倫理 (品切れ) | 13 科学のミスコンダクト (品切れ) |
| 2 科学技術教育の国際協力ネットワークの構築 | 14 性差とは何か (品切れ) |
| 3 男女共同参画社会 (品切れ) | 15 医療を崩壊させないために (品切れ) |
| 4 エネルギー学を考える (品切れ) | 16 食の安全を求めて |
| 5 多発する事故から何を学ぶか | 17 ダーウィンの世界 |
| 6 なぜなぜ宇宙と生命 (品切れ) | 18 科学を文化に |
| 7 先端科学技術と法 (品切れ) | 19 生殖補助医療と法 (残少) |
| 8 食の安全と安心を守る (品切れ) | 20 放射能除染の土壌科学 |
| 9 医療事故は予防できるか | 21 高レベル放射性廃棄物の最終処分について |
| 10 今、なぜ、若者の理科離れか (品切れ) | 22 地殻災害の軽減と学術・教育 |
| 11 舞踊と身体表現 | |
| 12 どこまで進んだ男女共同参画 | |

※品切れ図書につきましては、コピーサービスを行っています。

日学新書 新書判・本体価格 750 円 + 税 (送料別)
 賛助会員は割引価格 730 円 (税・送料込)

- 1 スポーツの科学
- 2 感覚器 [視覚と聴覚] と社会とのつながり
- 3 地球社会の環境ビジョン—これからの環境学— (品切れ)

◎ 当財団の運営、ニュースレター等に関するご意見、ご要望がございましたら、当財団総務担当までお寄せください。
 今後の参考にさせていただきます。皆様方のご意見、ご要望をお待ちしています。

データベース「学会名鑑」は、従来、財団が冊子媒体で発行していた『学会名鑑』を基に、約 2,000 の国内学術団体に対して調査を行い、日本学術会議、国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 及び日本学術協力財団が協力して主要学術団体の各種データを収録したものです。下記 URL からいつでもご覧いただけます。

※ リニューアルに伴い、URL が変更になりました。

<https://gakgai.jst.go.jp/gakkai/>

公益財団法人日本学術協力財団

〒106-0031

東京都港区西麻布 3-24-20

TEL 03-3403-9788

03-5410-0242

FAX 03-5410-1822

URL <http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/>